

WUOC2016 報告書

細川 知希

1. 動機

2年前のチェコでのユニバーに参加させていただき、初めて世界のレベルを体感することができました。圧倒的な走力・ナビゲーション能力差を感じましたが、中でもロングは相対的にその差が縮まり、自分にとって一番上が狙える種目だと感じました。そこで、本大会では特に「ロングで上位半分以内」という目標を掲げ参加しました。

2. 準備

正直に言って、満足いくトレーニングはできませんでした。すべては自分の甘えが原因です。学生から社会人と環境が変わる中、今一段上のレベルに行くためのトレーニングを持続させるモチベーションはありませんでした。世界に勝つというより、海外での貴重なオリエンテーリング機会を楽しむという気持ちが勝っていたのが本音です。

3. 結果

	順位	タイム	トップ
Long	54位/100	106:38	83:59
Middle	84位/110	50:10	33:11
Relay	24位	2:12:33	1:39:26

・ Long

目標の半分以上には届きませんでした。レース内容としては、日本のように斜面がはっきりとした大きい山塊が跨がっているトレインということもあり、対応することができ、大きなミスなくゴールすることができました。目標未達の原因はただ単に走力がなかったからと言っても過言ではありません。トレーニング量相応の走りしかすることができませんでした。たれば論になってしまいますが、あと5分速ければ32位相当であり、十分狙える順位だと感じました。後悔しても遅いとはこのことです。

・ Middle

ナビゲーション能力の圧倒的な差を叩きつけられた、そんなレースでした。カルスト地形+ヤブに対応することが全くできませんでした。日本での急な山塊でのオリエンテーリングだけでは、いつまでたっても対応することはできないと感じました。ただでさえ、大学から始めて経験が浅い中、世界で戦うためには、海外で経験を積むしかないと改めて感じました。それぐらい、決定的に違う、日本では見たこともないテクニカルで終始息つく暇もないコースでした。ミスばかりして酷い内容だったのに、こんな楽しいコースを実際に目の当た

りにして、本当にオリエンテーリングという競技に出会えて良かったと感じました。

・Relay

感想は、ほぼミドルと同じです。運良く大きなミスなくビジュアルを通過しましたが、終盤に結局大ミスしてしまいました。結果、順位を落としてしまいました。

4. 今後について

特に大きな目標はないというのが実情です。海外遠征という目で見れば、来年の **O-ringen** に参加したいと考えています。もっと、海外の大地でオリエンテーリングがしたいです。そこで最大限にオリエンテーリングを楽しめるようトレーニングは継続して行っていきたいと考えています。こんな私にも関わらず、気にかけて応援してくださった方々、何よりオフィシャルとしてサポートしていただいた大西さんにこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。